

令和6年度 大阪府立岸和田支援学校 第3回学校運営協議会議事録

【日時】 令和7年2月7日(金) 13:30~14:30

【場所】 本校 1F 地域支援室

【出席】 会長…高田昭夫氏

副会長…塩谷謙二氏

委員…田中由紀氏、浦園麻美氏、池田友美氏、宇賀敦子氏

校長…松浪啓介 教頭…丸田公司、平岡洋介 事務長…青木昭之

首席・指導教諭…有山暁雄、井上鉄也、小浦亜由里、川並しのぶ

学部主事…福積聡子、前田詳人

【議事録】

学校長挨拶

協議事項

① 令和6年度 学校経営計画及び学校評価(案)

⇒学校運営協議会からの意見や今年度の評価を記入している。自己評価として評価指標を大きく上回っている項目が多いが、これは取り組みを実践してきた結果である。未達成項目として、視線入力装置の活用があるが、活用事例をいろいろな児童生徒に広げていくことが課題であり、来年度は事例を増やす視点で取り組んでいきたい。また、防災に関する項目では、PTAが主体となり「防災×電池デイキャンプ」に取り組むことができた。来年度も内容をさらに充実させた取り組みができるよう引継ぎたい。

(意見) 視線入力装置に関する項目の評価については、これまでも同様の傾向があった。児童生徒のターゲットを絞り、そこから他の児童生徒に広げていく必要がある。課題があれば、具体的な方法を探してほしい。全校教科研究については、各教員は自分の専門教科をベースに他分野の指導へ広げられると考えている。ベースとなる教科の専門性が大事な部分であるため、全校教科研究を継続する視点で取り組んでほしい。防災×電池デイキャンプは、しっかりと引き継いでもらえたと感じた。保護者、学校、医療等の関係機関を結びツールとして、根付いたものにしてほしい。今後も発展させていくことで、保護者との絆が強まっていくと思う。

② 令和7年度 学校経営計画及び学校評価(案)

⇒めざす学校像や中期的目標の大枠は変えていないが、下位項目を若干変更した。教科指導の充実は大事にしたい部分で、今年度は各教員の工夫された授業をたくさん見ることができた。他の教員も共有できるように、見て学べる仕掛けづくりをしていきたい。全校教科会も継続し、授業内のプラスポイントを評価しあって互いに元気になれる教科会としつつ専門性も向上させていきたい。自立活動の専門性向上の部分では、教員の入れ替わりが多い中、基本的な関わり方や介助の仕方、支援方法等、介護福祉士による研修も行い、基本的なことを振り返りながら学べる1年としたい。また、府支Pの研修会で防災の話聞いた。南海トラフ地震では、被害が大きくなると伺ったので、自助・共助・公助ができる体制を考えていきたい。その意味では、今年度の防災の取り組みをさらに深めたい。例えば、自衛隊を呼ぶことは一つの学校では難しいが、地域の小中学校や役所も巻き込み、他校のPTAにも見に来てもらうといった地域ぐるみで考えていくことができれば可能性はあるのではないと思う。具体的な取り組みの計画や内容については裏面に記載の通りである。

Q:働き方改革の推進の項目で介護用リフトの活用を入れているが、どのような計画か教えてほしい。

A:今年度、教頭が前任校で取り組んだ活用事例の研修を行った。教員の負担軽減になる一方、児童生徒にとっても怖さの軽減や気遣いの点でメリットがあると分かった。腰痛予防研修も行っているが、児童生徒の身体が大きくなると、介助する側の負担が大きくなる。学校経営計画に記載することで、校長マネジメント経費

で購入する方向にもつながっていくと考えている。

Q: レンタルも費用がかかるが、継続できるのか。

A: 現在は3年レンタルをしている状態。その後は全体の予算も見ながら考えていきたい。

(意見) 他の支援学校の研修で、リフトの好きな児童生徒の様子を見たことがある。教員も楽になるものなので、予算がついて継続できるようにしてほしい。防災キャンプの計画は、知らない人が見ると、何をするのかかわからない。例えば、今後どのようなブースを増やすか具体的に説明したほうがわかりやすいと思う。

③ 令和6年度 学校教育自己診断 考察

⇒ 学校経営計画関連項目のうち、未達成項目は校長より説明のあった通りである。教職員用、保護者用、児童生徒用について、今年度は肯定的な回答が多い。経年変化で見ると、徐々に上がってきている項目が多い。児童生徒用では、「わからない」という回答が増えているが、保護者の代筆がほとんどなので、保護者の考えて変化する部分と考察している。また、どの項目も増減はあるが、児童生徒数の少ない本校では、パーセントで表すと一人の割合が大きいため、数名の回答数で大きく増減することになる。

(意見) 保護者の立場では、「わからない」と回答することが多い。他の保護者も同様だと思う。

Q: 児童生徒用の回答は全学部を網羅したものか。それぞれの学部での特徴はあるか。

A: 学部ごとにはまとめていない。

(意見) 全体と学部ごとの分析をすると、また新たな特徴が見られるかもしれない。今後、分析していくことも必要だと思う。

④ 令和7年度 教科書採択の報告

⇒ 第2回での意見をもとに、すべての教科書ではないが、見本を用意している。教科書の選定一覧表は第2回と同じ資料である。

(意見) タブレット端末や電子黒板等のICT機器活用もよいが、ぬくもりのある紙の本も読んであげてほしい。何回も繰り返し、読み聞かせることで効果があると思う。

⑤ 防災×電池デイキャンプの報告

⇒ 担当首席より、参加人数や各ブースの内容、アンケート結果を報告した。

(意見) 施設より2名で参加した。地域や関係機関が集まり、とてもすばらしい取り組みだったと思う。自身の施設も福祉避難所に指定されており、災害時の準備や備蓄品の話は聞いているが、不安も大きい。体育室で子どもが楽しめるコーナーも設置されていたが、災害時には必要な視点だと感じた。段ボールベッド等の避難所体験もよかった。今回のような大規模な取り組みはできないが、自身の施設で保護者と一緒に行えることから始めていきたい。

⑥ 保護者からの意見調査審議

⇒ 特になし

⑦ その他、学校運営全般について

(意見) 防災の研修会を受けて、学校内の身近な危険の話があった。大地震では、固定されていないものは飛んでくる。どういう場面で怪我をするのか、そうならない工夫は何か等、視点を変えると、見える部分もあるので、まずは自分の身の回りから取り組んでいくことが大切だと感じた。

※ 各協議事項については承認された。

事務連絡

閉会